



不思議な力を持つ「挨拶」

1学期も残り2週間で子どもたちが楽しみにしている夏休みとなります。教室ではどの教科もいよいよまとめの時期になりました。子どもたちが、健康でまとめの時期を乗り越え、楽しい夏休みを迎えられますようご家庭でも子どもたちの健康管理をお願いいたします。



今月1日よりPTA挨拶運動が始まりました。「挨拶」の「挨」は（おす）という意味があり、「拶」は（せまる）という意味があります。禅宗では一挨一拶（いちあいいちさつ）と言って、指導者が弟子の心境の深まりを読みとったり、修行者同士が互いの力量を試しあう時の言葉です。つまり「挨拶」本来の意味は、心で心を読みとる事と言えます。

元NHKアナウンサーの鈴木健二さんは「挨拶とは、心を開いて相手に迫ることだ。」と言っておられます。たった一言の「おはよう！」が、相手の心を開き、自分の心で押し、相手に迫り、また押し返されて、心に何かが芽生える。そんな挨拶ができるようになれば、毎日の生活を明るく変えてくれるのではないのでしょうか。

家族の間で「おはよう」「いってらっしゃい」「いってきます」「おやすみ」「ありがとう」の挨拶がかわせる家庭は、子どもが曲がることはないとも言われています。豊かな心は、このような何気ない挨拶を、自然にできることから生まれてくるものですね。

この夏休み、家庭や地域で「挨拶」の声が広がっていくことを願っています。

七夕の夜は、あかりを消して 大切なものを見つけよう！

国では、地球環境の大切さを考え、二酸化炭素排出削減の取り組んでいます。その一環として7月7日を「クールアース・デー」として決めました。環境省はこの七夕の日にちなんで『七夕ライトダウン』を呼びかけています。

7月7日（火）午後8時～10時の2時間、あかりを消して二酸化炭素削減につなげるとともに、地球環境について考える機会にしていいただければと思います。

『七夕ダウンライト』のコンセプトは、“あかりを消して大切なものを見つけよう”です。天気がよければ、月明かり星明りをめながら、もし雨が降ったら雨音を聞きながら、地球の未来に思いを馳せてみてください。



Photo News

フォトニュース

楽しかった「やまのこ」



小学校での初めての宿泊体験、「やまのこ」学習。荒神山少年自然の家で、両日とも天候に恵まれ、友だちと一緒に数々の思い出をつくることができました。



荒神山でのウォークラリー、キャンプファイヤーの楽しいひととき、リバーボートをしたこと。友だちと共に過ごした自然の家での夜のこと。本当に楽しい二日間でした。

